

「これからも/地元の皆様に「寄り添う政治」も忘れません



自民党石川県連 金沢支部合同 震災募金活動



自民党オウム真理教対策 地元の皆様より要望を承る



自民党金沢支部 街頭演説会

「ノーガン金沢1マイル チャレンジデー」



八田町会 秋祭り

北陸新幹線建設促進 石川県民会議総会



私の政治信条 — 日本の進むべき道 —

保守政治の原点を見失ってはならない。歴史観と国家観を持ち、国益を守る外交を戦略的に展開し、日米同盟を基軸として近隣諸国との友好関係を築く。日本型規制緩和と研究開発による経済成長を求め、産業を創出し、豊かさの原点である家族と地球を守る。社会保障において自助・共助・公助のバランスのとれた、持続可能な社会を築くこと。これぞ、主権国家の政治家の目指すべき政治信条です。「質素儉約。されど家族の温かさや社会や地域の絆を大切に作る健全な競争社会!」こそ日本の進むべき道です。

裸一環 たたき上げ! 少年 はせひろし 物語

わし養子に行くちゃ!

まだ小学2年生のあどけない男の子が人生の大きな転機を迎えようとしていた。父母は苦悩の表情を浮かべていた。たまりかねたように母親が言った。「浩、どっちでもいいげんぞ…養子が嫌なら行かんでもいいげんぞ!」

だが、少年はなぜか目をキラキラと輝かせ、叫んだ。「わし行くちゃ!養子に行くちゃ!」

あとから思えば、この瞬間、富山生まれの少年が金沢の代議士になる道を自分自身で選び取ったのである。

浩は昭和36年5月5日、こどもの日、端午の節句に富山県小矢部市興法寺町の農家の三男坊として誕生した。生家はお世辞にも豊かとは言えなかった。父は農業のかたわら、内職に金沢金箔の箔打ちをしたり、村の瓦工場で働いたりして生計を立てていた。

詳しくはHPまで。全8頁の物語です!



小学生のころ富山県小矢部の実家で

はせ 浩 プロフィール

生年月日/1961年(昭和36年)5月5日生まれ 学歴/金沢市立千坂小・鳴和中・星稜高・専修大卒 職歴/星稜高校教諭、ロス五輪出場、プロレスラー、文部科学副大臣、党文部科学部会長、現・衆院青少年特委筆頭理事 家族/母・直子 妻・恭子 長女・鈴音 りおん

はせ 浩 連合後援会事務所

〒921-8005 金沢市間明町1丁目232 (北鉄バス間明二丁目停留所前)

TEL 076-291-1401 FAX 076-291-1402

はせ浩HP

E-mail hase55@po.incl.ne.jp



日本の未来に責任を!!

情熱と感動

はせ浩 ひろし

討議資料

馳と言えは「議員立法」

初当選以来 合計20本成立



放射能汚染がれき処理法

この法律がなければ汚染がれきの処理ができなかった。被災地視察(宮城県・山元町)。その後「放射能汚染がれき処理法」を成立させる。



スポーツ基本法

ナショナルトレーニングセンターが整備され、選手強化・メダルラッシュにつながった。伊調馨さんと吉田沙保里さん

日本レスリング協会副会長として女子レス五輪3連覇の二人を祝福!



障害者虐待防止法

公明党の先生方と一緒に、障害者の虐待を禁止する法律を成立させる。「障害者虐待防止法案」提出 左より、斉藤(公)・高木(公)・2人おいて山内(み)各代議士と



子ども子育て支援法

幼稚園、保育所が守られ、認定こども園の拡充が決まる。参院委員会にて社会保障と税一体改革関連3法案の修正案提案者として閣僚席で答弁

その他、成立させた法律

- 児童虐待防止改正法
 - 子ども子育て関連法整備法
 - スポーツ振興くじ法
 - 学校図書館改正法
 - ダイオキシン対策法
 - 土壌汚染防止法
 - 総合法律支援法
 - PTA共済法
 - 高齢者虐待防止法
 - 発達障害者支援法
 - 認定こども園改正法
 - 性同一性障害者特別法
 - 青少年ネット規制法
 - 動物愛護法
 - 海外美術品公開促進法
 - 違法ダウンロード防止法
- 合計20本